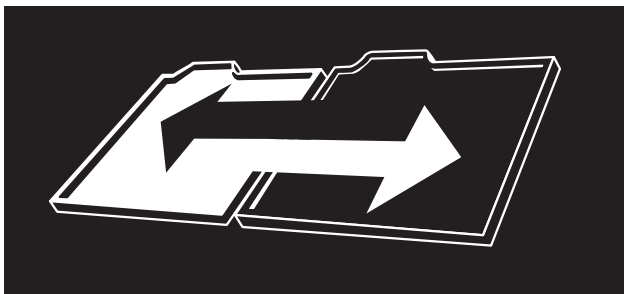


データ同期ソフト

AOS Sync⁺

ユーザーズマニュアル



AOS Technologies

商標・著作権

『AOS Sync+』はAOSテクノロジーズ株式会社の日本における商標です。
Windowsは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

その他の社名、ブランド名及び製品名は、各所有者の商標または登録商標です。

本ソフトウェア（本ソフトウェアに組み込まれたイメージ、写真、アニメーション、ビデオ、音声、音楽、テキスト、アプレット、その他を含む）、付属のマニュアルなどの文書、および本ソフトウェアの複製物についての著作権は、AOSテクノロジーズ株式会社またはその認定サプライヤーが有するもので本ソフトウェアは著作権法および国際条約の規定によって保護されています。本ソフトウェアのソースコードプログラムの著作権は、Laplink Software社が所有します。

『AOS Sync+』の日本語版開発・販売はAOSテクノロジーズ株式会社です。

AOSテクノロジーズ株式会社

〒105-0001 東京都港区虎ノ門5-13-1 虎ノ門40MTビル 4階

ホームページ： <http://aosbox.com/sync/>

Eメール： aosync@aos.com

目次

はじめに	5
サポートされるデバイス	5
用語集	5
本書の構成と読みかた	6
準備	7
システム要件	7
注意事項	8
実行	10
Windows版	10
インストール	10
本ソフトウェアの実行	13
登録と認証	13
セキュリティ設定	14
同期方法	15
全般設定	22
Macintosh版	24
動作環境	24
インストール方法	24
本ソフトウェアの実行	26
登録と認証	27
セキュリティ設定	28
ホーム画面の概要	28
同期の手順	29
セキュリティの設定	36
ユーティリティの設定	36

Android版	37
動作環境	37
インストール方法(Android)	37
セキュリティ設定	38
ホーム画面の概要	39
アップデートの方法	39
同期の手順	39
セキュリティの設定	46
ファイル削除の設定	47

iOS版	48
動作環境(iOS)	48
インストール方法(iOS)	48
同期アクセスと認証	48
登録	48
ホーム画面の概要	50
同期の手順	51
セキュリティの設定	57
ファイル削除の設定	57

ウルトラシンク仕様書	59
ウルトラシンクの概要	59
実際の動作	59

付録

62

本製品の使用について	62
よくある質問	65
お問い合わせ	66

はじめに

このたびは、「AOS Sync+(以下、「本ソフトウェア」)をご購入くださり、誠にありがとうございます。

本ソフトウェアは、同じネットワーク上の2つの端末同士で、ドキュメント、画像、音楽、ビデオなどのファイルを同期させるためのソフトウェアです。

本ソフトウェアは、使用許諾の合意書に基づいて提供されるもので、合意書の条項に従う場合にのみ使用することができます。本ソフトウェアには、パソコンソフトウェア、およびそれに関連した媒体、ならびに印刷物(マニュアルなどの文書)、「オンライン」または電子文書が含まれることもあります。

本書に記載された内容は情報の提供のみを目的としており、予告なしに変更されることがあります。

サポートされるデバイス

本ソフトウェアは、Windows、Macintosh、AndroidおよびiOS端末で使用可能です。すべての組み合わせで同期可能です。

用語集

- **同期**—前回の同期以降に変更されたファイルを、ある端末から別の端末へコピーする処理のことをいいます。同期するファイルは、転送の方向と競合解決の指定方法に依存します。
- **競合**—前回の同期以後、両方の端末(双方向に同期した場合)またはどちらかの端末(一方向に同期した場合)で変更された同名のファイルを同期しようとしたときに発生する状態です。競合が存在する場合、本ソフトウェアはどちらのファイルを保持したいかをユーザーに確認をします。また、両方のファイルも保持して同期を行わないようにすることもできます。
- **ローカル端末**—同期設定を行うために操作している端末を指します。
- **リモート端末**—同期先となる端末を指します。ローカル端末からこの端末に接続して同期を行います。

本書の構成と読みかた

本書は、次のように構成されています。

▶ 準備

本ソフトウェアを使用するために必要な環境や、ご使用にあたっての制限事項、および本ソフトウェアのインストール／アンインストール方法などが記載されています。

本ソフトウェアをご使用になる前に必ずお読みください。

▶ 実行

同期の流れと、本ソフトウェアの操作方法が記載されています。操作方法は、引越し方法(接続)ごとに記載されています。ご使用のOSに応じて、必要なページをお読みください。

▶ 応用

本ソフトウェアの応用的な使いかたを紹介します。必要に応じてお読みください。なお、操作などの詳細はヘルプをご覧ください。

▶ 付録

各種の資料が記載されています。

必要に応じてお読みください。

準備

システム要件

同期の行うすべての端末は、同一ネットワークに接続されている必要があります。

- Windows版
 - ▶Windows XP/Vista/7/8(8.1)
 - ▶上記OSが正常に動作するメモリ
 - ▶30MB以上のハードディスク空き容量(プログラム用)
 - ▶1024x768以上の解像度
- Macintosh版
 - ▶Mac OS X 10.8以降
 - ▶2GB以上のメモリ
 - ▶10MB以上のハードディスク空き容量(プログラム用)
 - ▶1024x768以上の解像度
- Android版
 - ▶Android 2.3以上
- iOS版
 - ▶iOS 6.1以上

※プログラムのダウンロード、およびライセンスキー認証を行うためにインターネット接続が必須になります。



本ソフトウェアを購入すると、購入者が使用する1端末上でソフトウェアをインストールできるライセンスを購入したことになります。AndroidやiOSの端末にインストールするためのライセンスは、Windows / Macintosh用のライセンスとは別のものです。

有効なライセンスは、ソフトウェアを使用する各個人の用途として購入する必要があります。さらに追加したい端末に本ソフトウェアをインストールする際には、同じライセンスキーを使用することはできません。

詳細については、使用許諾契約(EULA)を参照してください。

追加のライセンスを購入するには、当社までお問い合わせください。

注意事項

- 一度同期した後、同期対象フォルダーにあるファイルを削除した場合、そのファイルは次回同期時にコピーされません。「ファイルの削除を許可」を有効にした場合、もう一方の同名ファイルも削除されます。一方で削除したファイルをもう一度コピーしたい場合は、一度フォルダーのペア設定を削除して再設定を行ってください。（※iOSではこの操作は不可能です）
- Androidに転送したファイルのうち、Android側で名前を変更したファイルは、次回の同期の際にもう一方のデバイス上で名前が変更されず、新しいファイルとして転送されることがあります。
- バッテリーを有する端末（スマートフォン、タブレット、ノートパソコン）で同期中に、省電力機能によりスリープモードに移行すると同期が停止したり一部ファイルの転送が行われなくなることがあります。その場合は電源に接続して再度同期を行ってください。Android版では同期中スリープモードに移行しないようにアプリ側で制御を行いますが、Androidシステムの判断によりこれが無効化されることがあります。
- すでに定義されているフォルダーのペアの配下の任意の場所を、別のフォルダーのペアとして定義することはできません。
- フォルダーの定義画面でフォルダー名を変更・削除できるのは、Windows版に限られます。なお、アクセス権のないフォルダーや、システムによって定義されているフォルダーの名前の変更や削除はできません。
- 同一ネットワークであれば、モバイルルーターやテザリング親機を経由して同期することも可能ですが、ルーターやテザリング親機そのものと同期することはできません。
- 同期するフォルダーを指定する際、各同期端末でログオン中のユーザーアカウントでアクセス許可のないフォルダーは指定できません。指定しようとするとエラーになります。
- システムの制限により、iOS端末にあるアルバム内の写真・ビデオは、AOS Sync+アプリから削除できません。不要なアルバム内の写真・ビデオはiOS標準の写真アプリを使用して手動で削除してください。なお、リモートの端末で削除されたファイルは、次回同期時にiOSから削除されず、リモートの端末に新し

いファイルとして再転送されます。

- 同期実行中のログオンユーザーは考慮されません。インストール時のログオンユーザー情報がそのまま適用されます。フォルダーのペア設定は、ログオンユーザーを変更した場合でも、リモート端末からアクセスする場合でも、最初に設定したログオンユーザーの情報がそのまま適用されます。
- Windows/MacintoshとAndroidを同期する際、Windows/Macintoshから操作を行う場合は、画像とビデオを同時に同期対象として設定することはできません。これは、通常Androidの画像とビデオの既定の保存場所が同一である仕様に起因します。画像とビデオを同時に同期したい場合は、Androidから操作を行ってください。
- 同期した後に名前を変更したファイルをiOSに転送する場合、新規ファイルとしてコピーされます。
- iOS端末との同期でファイルの競合が発生した場合、iOS端末でAOS Sync+アルバムにコピーしたデータ（iPhoneで撮影した写真やダウンロードした動画など）は、競合解決でiOS端末側のデータを上書きするような設定を行っても、上書きではなくコピーとなります。これはiOS版の制限事項となります。

実行

Windows 版



同期したいすべての端末に本ソフトウェアをインストールする必要があります。

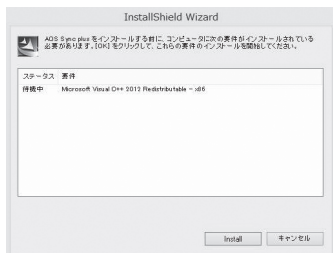
インストール

お使いのWindows 端末上で次の手順を実行します。

- 1 <http://aosbox.com/syncdl/> から、セットアップファイルをダウンロードします。
- 2 ダウンロードしたセットアップファイル“Setup.exe”をダブルクリックします。
- 3 [ユーザーアカウント制御] ダイアログが表示された場合、「はい」をクリックしてセットアップを続行します。
- 4 インストール手順(下記)に進みます。

▶インストール手順

- 1 最初に本ソフトウェアの動作に必要なランタイムをインストールします。
[Install] をクリックします。既にランタイムがインストールされているパソコンでは、この手順はスキップされます。



2 アップデート版の確認を行います。アップデートを確認するには、[はい]をクリックします。



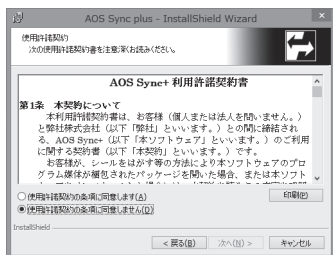
※アップデートがある場合は、Web ページが表示されます。アップデート用のセットアップファイルをダウンロードして、画面の指示に従ってアップデートをインストールします。

すべての端末に最新版の本ソフトウェアがインストールされていることをご確認ください。

3 [次へ]をクリックします。

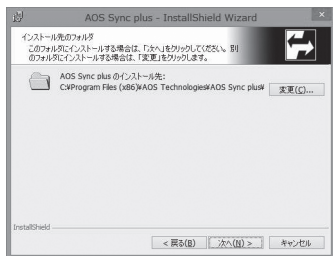


4 使用許諾契約をお読みのうえ、「使用許諾契約の条項に同意します」のラジオボタンをクリックし、[次へ]をクリックします。



- 表示されている使用許諾契約に同意していただけない場合は、本ソフトウェアはご使用いただけません。[キャンセル]をクリックして、インストールを中止してください。

5 インストール先を確認して、[次へ]をクリックします。



6 以降、画面に表示される指示に従って操作してください。インストールが完了すると、完了画面が表示されます。

7 [完了]をクリックします。



完了画面内で“AOS Sync plus を実行”にチェックを入れて [完了] をクリックすると、セットアップ画面が閉じられた後で本ソフトウェアは自動的に実行されます。

本ソフトウェアの実行

Windows スタートメニュー、または Windows スタート画面のアプリ一覧から「AOS Sync plus」をクリックします。

登録と認証

初めて本ソフトウェアを起動したとき、登録して本ソフトウェアを認証するための画面が表示されます。下記に示された情報を入力し、[ユーザー登録] をクリックします。



ユーザー登録

登録状況: トライアル

名:	<input type="text" value="あなたの名を入力してください"/>
姓:	<input type="text" value="あなたの姓を入力してください"/>
メールアドレス:	<input type="text" value="あなたのメールアドレスを入力してください"/>
ライセンスキー:	<input type="text" value="体験版は実行できません"/>
体験版の有効日数:	<input type="text" value="1"/>



名、性、メールアドレスは必須です。

ライセンスキーの記載場所は、購入した方法によって異なります。
パッケージ版をご購入の場合、ライセンスキーはライセンス証書に記載されています。また、ダウンロード版をご購入の場合、ライセンスキーはダウンロード時にお送りしたメールに記載されています。

認証を行うには、お使いの端末がインターネットに接続されている必要があります。

インターネットに接続されている状態でアクティベーションに失敗する場合は、ウイルススキャン、スパイウェアスキャン、およびファイアウォールなどのすべてのセキュリティソフトウェアを無効にし、再試行してください。

インターネット接続がない場合、またはアクティベーションが失敗する場合、弊社のカスタマーサポートまでお問い合わせください。

セキュリティ設定

本ソフトウェアを起動したとき、まだセキュリティ設定が行われていない場合に、ユーザー名とパスワードを設定する画面が表示されます。

セキュリティの設定

他の端末からこの端末に接続するための、ユーザー認証を設定してください。

ユーザー名	<input type="text" value="ユーザー名を入力します"/>
パスワード	<input type="password" value="パスワードを入力します"/>
パスワードを再入力	<input type="password" value="パスワードを再入力"/>

リモート端末のユーザーが、このローカル端末に接続するときに必要なユーザー名とパスワードを入力します。入力後、[OK]をクリックします。

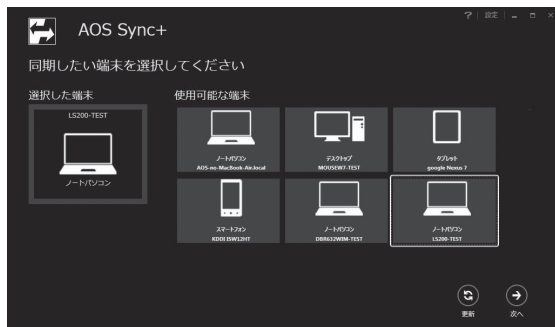
※ Windows ユーザーアカウントのユーザー名とパスワードではありません。この設定は、本ソフトウェア専用のものです。

※ ユーザー名とパスワードは、両方入力する必要があります。また、パスワードは6文字以上で指定する必要があります。

同期方法

▶ ホーム画面の概要

ホーム画面は、本ソフトウェアを実行したときに表示される最初の画面です。



- **使用可能な端末**—本ソフトウェアが実行されている、同一ネットワーク上のすべての端末です。
- **選択した端末**—使用可能な端末一覧から選択されている、リモート端末です。
- **設定**—すべての同期端末に適用される、既定の設定を変更します。

▶ アップデートの方法

本ソフトウェアのアップデートを確認するには、ホーム画面の右上隅にある(?)をクリックし、[プログラムを更新]をクリックします。

アップデートがある場合は、Web ページが表示されます。アップデート用のセットアップファイルをダウンロードして、画面の指示に従ってアップデートをインストールします。

すべての端末にアップデートをダウンロードしてインストールされていることをご確認ください。

▶同期の手順

以下の手順を行い、迅速かつ簡単に二つのデバイス間で同期を設定できます。

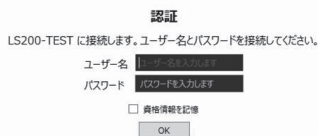
- 本ソフトウェアを実行しているWindowsパソコンをリモート端末として設定して、USBメモリやネットワークドライブとマイドキュメントなどを同期することができます。同じローカル端末を選択して、以下に説明するように手順を進め、異なるフォルダーのペアを定義してください。

1 リモート端末に接続

ホーム画面で、使用可能な端末一覧から同期したい端末を選択して、[次へ]をクリックします。

- 同期したいリモート端末は、本ソフトウェアを実行して、ホーム画面を表示したままにして、ローカル端末からの接続を待機させてください。リモート端末が表示されるまで、10秒以上かかることがあります。

リモート端末でセキュリティ設定が行われている場合は、以下のようにユーザー名とパスワードが求められます。それぞれ入力して[OK]をクリックします。



2 同期するフォルダーのペアの定義



同期するフォルダーのペアを追加するために、該当するアイコン（例えば、ドキュメント）をクリックします。既定では、ファイルは、2つの端末上の同等のフォルダー間で転送されます（例えば、ローカル端末とリモート端末上のドキュメント フォルダー内のファイル）。

同じカテゴリの複数のフォルダーのペアを追加することができます。



- 左の列がローカル端末のフォルダー、右の列がリモート端末のフォルダーです。

Windows—既定のフォルダーの場所（同期場所）は、各カテゴリで次のようになっています：

- **写真**—ログオン中ユーザーの（マイ）ピクチャフォルダー C:\¥Users¥(ログオン中のユーザー)\¥Pictures
- **音楽**—ログオン中ユーザーの（マイ）ミュージックフォルダー C:\¥Users¥(ログオン中のユーザー)\¥Music
- **ビデオ**—ログオン中ユーザーの（マイ）ビデオフォルダー C:\¥Users¥(ログオン中のユーザー)\¥Video
- **ドキュメント**—ログオン中ユーザーの（マイ）ドキュメントフォルダー C:\¥Users¥(ログオン中のユーザー)\¥Documents

Macintosh—既定のフォルダーの場所（同期場所）は、各カテゴリで次のようになっています：

- **写真**—ログオン中ユーザーのピクチャフォルダー
- **音楽**—ログオン中ユーザーのミュージックフォルダー
- **ビデオ**—ログオン中ユーザーのムービーフォルダー
- **ドキュメント**—ログオン中ユーザーの書類フォルダー



- Macintosh 上で上記の4つのフォルダーにアクセスするには、DockからFinderアイコンをクリックして、左のサイドバーにある「よく使う項目」下に表示されるリストから目的のフォルダーをクリックします。Macintosh内に複数のユーザーアカウントが存在している場合、「よく使う項目」の下にリストされている特定のユーザーのフォルダーをクリックして、そのユーザーフォルダの中から4つのフォルダーにアクセスします。

Android—ほとんどの場合、既定のフォルダーの場所（同期場所）は、各カテゴリーで次のようになっております：

- **写真**—/mnt/sdcard/DCIM
- **音楽**—/mnt/sdcard/Music
- **ビデオ**—/mnt/sdcard/DCIM
- **ドキュメント**—/mnt/sdcard/Documents



一部の Android 端末は、上の場所とは異なる場所にファイルの一部またはすべてを格納している場合があります。Android 端末から転送されたと思われるファイルが見つからない場合は、同期完了後、Android 端末で転送されなかったファイルのプロパティを表示します。

ファイルのプロパティでは、Android 端末でそのファイルが保存されている場所が表示されます。次回同期の際に、同期するフォルダーの変更（以下の詳細な手順を参照）を行い、Android 端末のファイルのプロパティで表示されている場所を設定します。ファイルのプロパティの表示方法は、Android 端末のマニュアルや、そのファイルを作成したアプリのヘルプなどをご覧ください。



Windows と Android を同期する際、Windows から操作を行う場合は、画像とビデオを同時に同期対象として設定することはできません。これは、通常 Android の画像とビデオの既定の保存場所が同一である仕様に起因します。画像とビデオを同時に同期したい場合は、Android から操作を行ってください。

iOS—同期の制限があります：

- **ファイルの種類**—iOS のから同期は、写真とビデオの 2 つがサポートされているファイルの種類です。他の種類のファイル（例えば、ドキュメント）はサポートされません。

iOS 端末との同期を設定する場合、写真とビデオのアイコンのみが有効になります。

- **同期場所**—iOS 端末上の写真とビデオは、[AOS Sync+] アルバムから同期されます。同期する前に、iOS 端末で同期したい写真やビデオを [AOS Sync+] アルバムに追加してください。

iOS 端末では、同期場所はここに固定され、変更できません。

フォルダーのペアを追加した後、Windows 側のフォルダー（同期場所）を変更するには、リスト内の左の項目をクリックします。表示されるダイアログボックスで同期場所とするフォルダーを選択し、[OK]をクリックします。

[その他]アイコン: 4つのカテゴリー（写真、音楽、ビデオおよびドキュメント）のいずれにも属さないフォルダーのペアを設定するには、このアイコンをクリックします。

その他がリストに表示されたら、ローカル端末およびリモート端末の両方のフォルダーの場所を設定します。ローカル端末のフォルダーを選択するには、リスト内の左の項目をクリックします。表示されるダイアログボックスで同期場所とするフォルダーを選択し、[OK]をクリックします。リモート端末のフォルダーを選択するには、リスト内の右の項目をクリックして同様に指定します。



- iOS 端末と同期する場合は、その他アイコンは使用できません。iOS と Windows で同期するには、写真またはビデオアイコンをクリックします。その後、Windows 側のフォルダー（同期場所）を変更するために、リスト内の左の項目をクリックします。表示されるダイアログボックスで同期場所とするフォルダーを選択し、[OK]をクリックします。

同期のオプション設定:

- **同期の方向**—既定では、同期は双方向になります（両方の端末から設定したフォルダーへ転送）。矢印（⇄、←、→）をクリックすると同期の方向が変わり、一方の端末からのみファイルを転送するように設定できます。希望する方向が示されるまで、矢印をクリックします。
- **同期スイッチ**—既定では [はい] に設定されており、設定されているフォルダーのペアで同期を行います。2つの端末間の初めての同期を実行する場合は、既定のままにしておきます。
その後の同期で、今回の同期で特定のフォルダーのペアを除外したい場合は、スライダバーをクリックして [いいえ] に設定を変更します。
- **前回の更新ファイル競合時の動作設定をクリア**—既定ではオフになっており、前回の同期で競合解決（20 ページ）を行ったファイルは、再び競合が発生して

も前回の解決設定がそのまま使用されます。オンにすると、この時に再び競合解決の画面が表示されるようになり、設定の変更を行うことができます。

- **ファイルの削除を許可**—2つのWindows端末間、またはWindowsとMacintoshとの間で同期する場合、このオプションは既定でオンになっています。オンになっていると、前回の同期後、一方の端末上で削除されたファイルは、次の同期の実行時に本ソフトウェアによって、別の端末上でも削除されます。

Windows端末とAndroidまたはiOS端末間で同期させる場合、このオプションは既定でオフになっています。例えば、Android端末の容量を節約するために、WindowsにAndroidから写真を同期し、その後Androidから写真を削除する一般的なシナリオを想定しています。既定の設定では、本ソフトウェアは、以降の同期でWindows端末上ではAndroidから同期された写真を保持します。

これらの同期のオプションの設定は、同期がこのWindows端末から開始された際に、ローカルおよびリモート端末間の同期に適用されます。別の端末をリモート端末として選択した場合、個別の設定を行います。

同期の設定が終了したら、[次へ]をクリックします。

3 競合解決



- 同期の競合が発生しなかった場合、このステップは行う必要はありません、このステップを省略して4に進みます。

競合は、次の2つの状況で発生します。

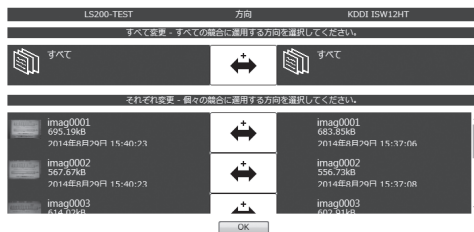
- **双方向の同期**—同期されたファイルが、前回の同期以後に両方の端末上で変更された場合。
- **一方方向の同期**—同期されたファイルが、前回の同期以後に宛先の端末（矢印の先）上で変更された場合。

例：端末Aから端末Bに一方方向の同期を設定した際、同期を最初に実行した後に端末Bのファイルに変更を加えてから同期をもう一度実行すると、変更されたファイルは競合として該当します。

競合が発生した場合、次の画面が表示されます：

競合の解決

1つ以上のファイルが変更され、同期の際に競合を引き起こしています。これらのファイルを転送する方向を決める必要があります。



矢印(⇄、←、→、×)をクリックすると方向が変わります。希望の方向が表示されるまでクリックして、ファイルを転送する(上書き)方向を決定します。

複数のファイルが競合している場合は、リストの一番上の矢印をクリックして、すべてのファイルに対して同じ方向を設定することができます。リスト内の個別の矢印をクリックすることで各ファイルの方向を設定することもできます。

設定が完了したら[OK]をクリックします。

矢印の方向:

⇄	新しいファイルを適用—両方のファイルの日付・時間をチェックし、新しい方のファイルで古い方のファイルを上書きします。
→	ローカル端末からリモート端末へ転送—ローカル端末のファイルでリモート端末のファイルを上書きします。
←	リモート端末からローカル端末へ転送—リモート端末のファイルでローカル端末のファイルを上書きします。
×	転送しない—そのまま各端末上のファイルを保持し、転送を行いません。

4 同期の概要表示

同期の概要が表示されます。



同期される内容の一覧を確認し、[開始]をクリックします。

5 同期の完了

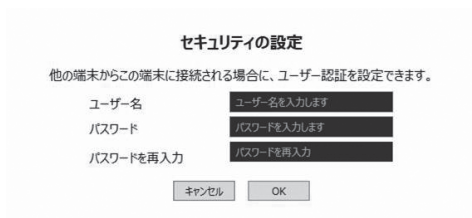
同期が完了したら、同期された内容の要約が表示されます。[OK]をクリックします。ホーム画面に戻るにはさらに[戻る]をクリックします。



全般設定

▶セキュリティの設定

リモート端末のユーザーが、このローカル端末に接続するときに必要なユーザー名とパスワードを変更するには、ホーム画面の右上隅にある[設定]をクリックし、[セキュリティの設定]をクリックします。



指定したら [OK] をクリックします。

※ Windows ユーザーアカウントのユーザー名とパスワードではありません。この設定は、本ソフトウェア専用のものです。

※ ユーザー名とパスワードは、両方入力する必要があります。また、パスワードは 6 文字以上で指定する必要があります。

▶ プログラムの設定

ローカル端末から同期を開始する際に、SSL (Secure Socket Layer) 接続を設定するには、ホーム画面の右上隅にある [設定] をクリックし、[プログラムの設定] をクリックします。ほとんどのユーザーの場合、この設定は既定の [はい] のままで、変更する必要はありません。

Macintosh版

動作環境

- Mac OS X 10.8以降
- 2GB以上のメモリ
- 10MB以上のハードディスク空き容量(プログラム用)
- 1024x768以上の解像度

インストール方法



同期したいすべての端末に本ソフトウェアをインストールする必要があります。

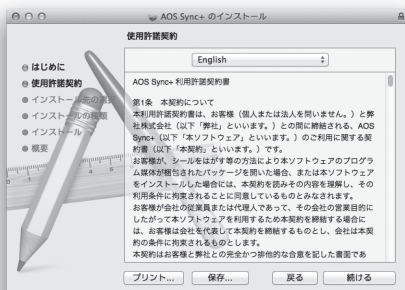
- 1 <http://aosbox.com/syncdl/> から、セットアップファイルをダウンロードします。
- 2 ダウンロードしたインストーラーパッケージ“Setup.pkg”をダブルクリックします。
- 3 インストール手順(下記)に進みます。

▶インストール手順

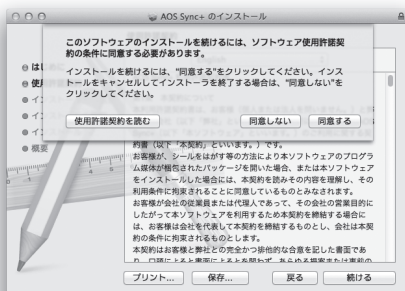
- 1 [続ける]をクリックします。



2 使用許諾契約をお読みのうえ、[続ける]をクリックします。



3 使用許諾契約にご同意いただけましたら、「同意する」をクリックします。



- 表示されている使用許諾契約に同意していただけない場合は、本ソフトウェアはご使用いただけません。[同意しない] をクリックして、インストールを中止してください。

4 インストール先を確認して、[続ける]をクリックします。



5 以降、画面に表示される指示に従って操作してください。インストールが完了すると、完了画面が表示されます。

6 [閉じる]をクリックします。



本ソフトウェアの実行

Finderからアプリケーションフォルダーを開き、「AOS Sync+」をダブルクリックします。

登録と認証

初めて本ソフトウェアを起動したとき、登録して本ソフトウェアを認証するための画面が表示されます。下記に示された情報を入力し、[ユーザー登録] をクリックします。



名、性、メールアドレスは必須です。

ライセンスキーの場所は、購入した方法によって異なります。パッケージ版をご購入の場合、ライセンスキーはライセンス証書に記載されています。また、ダウンロード版をご購入の場合、ライセンスキーはダウンロード時にお送りしたメールに記載されています。

認証を行うには、お使いの端末がインターネットに接続されている必要があります。

インターネットに接続されている状態で認証に失敗する場合は、ウイルススキャン、スパイウェアスキャン、およびファイアウォールなどのすべてのセキュリティソフトウェアを無効にし、再試行してください。

インターネット接続がない場合、またはアクティベーションが失敗する場合、弊社のカスタマーサポートまでお問い合わせください。

セキュリティ設定

本ソフトウェアを起動したとき、まだセキュリティ設定が行われていない場合に、ユーザー名とパスワードを設定する画面が表示されます。



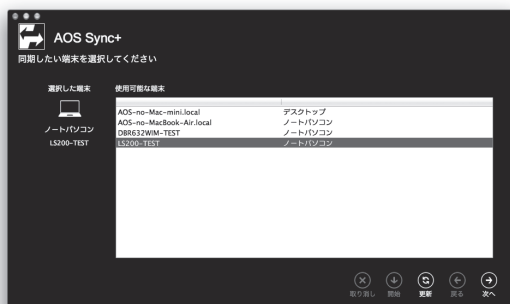
リモート端末のユーザーが、このローカル端末に接続するときに必要なユーザー名とパスワードを指定します。指定したら[OK]をクリックします。

※ Macintosh ユーザーアカウントのユーザー名とパスワードではありません。この設定は、本ソフトウェア専用のものであります。

※ ユーザー名とパスワード共に入力する必要があります。また、パスワードは6文字以上で指定する必要があります。

ホーム画面の概要

ホーム画面は、本ソフトウェアを実行したときに表示される最初の画面です。



- **使用可能な端末**—本ソフトウェアが実行されている、すべての同一ネットワーク上の端末です。
- **選択した端末**—使用可能な端末一覧から選択されている、リモート端末です。

同期の手順

以下の手順を行い、迅速かつ簡単に二つのデバイス間で同期を設定できます。



- 本ソフトウェアを実行しているMacintoshをリモート端末として設定して、USBメモリやネットワークドライブとマイドキュメントなどを同期することができます。同じローカル端末を選択して、以下に説明するように手順を進め、異なるフォルダーのペアを定義してください。

1 リモート端末に接続

ホーム画面で、使用可能な端末一覧から同期したい端末を選択して、[次へ]をクリックします。



- 同期したいリモート端末は、本ソフトウェアを実行して、ホーム画面を表示したままにして、ローカル端末からの接続を待機させてください。リモート端末が表示されるまで、10秒以上かかることがあります。

リモート端末でセキュリティ設定が行われている場合は、以下のようにユーザー名とパスワードが求められます。それぞれ入力して [OK] をクリックします。

認証

ユーザー名

パスワード

資格情報を記憶します。

2 同期するフォルダーのペアの定義



同期するフォルダーのペアを追加するために、該当するアイコン（例えば、ドキュメント）をクリックします。既定では、ファイルは、2つの端末上の同等のフォルダー間で転送されます（例えば、ローカル端末とリモート端末上のドキュメント フォルダー内のファイル）。

同じカテゴリーの複数のフォルダーのペアを追加することができます。



- 左の列がローカル端末のフォルダー、右の列がリモート端末のフォルダーです。

Macintosh—既定のフォルダーの場所（同期場所）は、各カテゴリーで次のようになっております：

写真—ログオン中ユーザーのピクチャフォルダー

- **音楽**—ログオン中ユーザーのミュージックフォルダー
- **ビデオ**—ログオン中ユーザーのムービーフォルダー
- **ドキュメント**—ログオン中ユーザーの書類フォルダー



- Macintosh上で上記の4つのフォルダーにアクセスするには、DockからFinderアイコンをクリックして、左のサイドバーにある「よく使う項目」下に表示されるリストから目的のフォルダーをクリックします。Macintosh内に複数のユーザーアカウントが存在している場合、「よく使う項目」の下にリストされている特定のユーザーのフォルダーをクリックして、そのユーザーフォルダの中から4つのフォルダーにアクセスします。

Windows—既定のフォルダーの場所 (同期場所) は、各カテゴリで次のようになっています:

- **写真**—ログオン中ユーザーの (マイ) ピクチャフォルダー C:\¥Users¥(ログオン中のユーザー)\¥Pictures
- **音楽**—ログオン中ユーザーの (マイ) ミュージックフォルダー C:\¥Users¥(ログオン中のユーザー)\¥Music
- **ビデオ**—ログオン中ユーザーの (マイ) ビデオフォルダー C:\¥Users¥(ログオン中のユーザー)\¥Video
- **ドキュメント**—ログオン中ユーザーの (マイ) ドキュメントフォルダー C:\¥Users¥(ログオン中のユーザー)\¥Documents

Android—ほとんどの場合、既定のフォルダーの場所 (同期場所) は、各カテゴリで次のようになっています:

- **写真**—/mnt/sdcard/DCIM
- **音楽**—/mnt/sdcard/Music
- **ビデオ**—/mnt/sdcard/DCIM
- **ドキュメント**—/mnt/sdcard/Documents



一部の Android 端末は、上の場所とは異なる場所にファイルの一部またはすべてを格納している場合があります。Android 端末から転送されたと思われるファイルが見つからない場合は、同期完了後、Android 端末で転送されなかったファイルのプロパティを表示します。

ファイルのプロパティでは、Android 端末でそのファイルが保存されている場所が表示されます。次回同期の際に、同期するフォルダーの変更 (以下の詳細な手順を参照) を行い、Android 端末のファイルのプロパティで表示されている場所を設定します。ファイルのプロパティの表示方法は、Android 端末のマニュアルや、そのファイルを作成したアプリのヘルプなどをご覧ください。



MacintoshとAndroidを同期する際、Macintoshから操作を行う場合は、画像とビデオを同時に同期対象として設定することはできません。これは、通常Androidの画像とビデオの既定の保存場所が同一である仕様に起因します。画像とビデオを同時に同期したい場合は、Androidから操作を行ってください。

iOS—同期の制限があります：

- **ファイルの種類**—iOSのから同期は、写真とビデオの2つがサポートされているファイルの種類です。他の種類のファイル（例えば、ドキュメント）はサポートされません。

iOS 端末との同期を設定する場合、写真とビデオのアイコンのみが有効になります。

- **同期場所**—iOS 端末上の写真とビデオは、[AOS Sync+]アルバムから同期されます。同期する前に、iOS 端末で同期したい写真やビデオを [AOS Sync+]アルバムに追加してください。

iOS 端末では、同期場所はここに固定され、変更できません。

フォルダーのペアを追加した後、Macintosh側のフォルダー（同期場所）を変更するには、リスト内の左の項目をクリックします。表示されるダイアログボックスで同期場所とするフォルダーを選択し、[開く]をクリックします。

[その他]アイコン：4つのカテゴリー（写真、音楽、ビデオおよびドキュメント）のいずれにも属さないフォルダーのペアを設定するには、このアイコンをクリックします。

その他がリストに表示されたら、ローカル端末およびリモート端末の両方のフォルダーの場所を設定します。ローカル端末のフォルダーを選択するには、リスト内の左の項目をクリックします。表示されるダイアログボックスで同期場所とするフォルダーを選択し、[OK] をクリックします。リモート端末のフォルダーを選択するには、リスト内の右の項目をクリックして同様に指定します。



- iOS 端末と同期する場合は、その他アイコンは使用できません。iOS と Macintosh で同期するには、写真またはビデオアイコンをクリックします。その後、Macintosh 側のフォルダー（同期場所）を変更するために、リスト内の左の項目をクリックします。表示されるダイアログボックスで同期場所とするフォルダーを選択し、[開く]をクリックします。

同期のオプション設定：

- **同期の方向**—既定では、同期は双方向になります（両方の端末から設定したフォルダーへ転送）。矢印（⇄、←、→）をクリックすると同期の方向が変わり、一方の端末からのみファイルを転送するように設定できます。希望する方向が示されるまで、矢印をクリックします。
- **同期スイッチ**—既定ではチェック-オンに設定されており、設定されているフォルダーのペアで同期を行います。2つの端末間の初めての同期を実行する場合は、既定のままにしておきます。
- その後の同期で、今回の同期で特定のフォルダーのペアを除外したい場合は、チェックボックスをクリックしてオフに設定を変更します。
- **前回の更新ファイル競合時の動作設定をクリア**—既定ではオフになっており、前回の同期で競合解決（34 ページ）を行ったファイルは、再び競合が発生しても前回の解決設定がそのまま使用されます。オンにすると、この時に再び競合解決の画面が表示されるようになり、設定の変更を行うことができます。
- **ファイルの削除を許可**—2つの Macintosh 端末間、または Windows と Macintosh との間で同期する場合、このオプションは既定でオンになっています。オンになっていると、前回の同期後一方の端末上で削除されたファイルは、次の同期の実行時に本ソフトウェアによって、別の端末上でも削除されます。

Macintosh 端末と Android または iOS 端末間で同期させる場合、このオプションは既定でオフになっています。例えば、Android 端末の容量を節約するために、Macintosh に Android から写真を同期し、その後 Android から写真を削除する一般的なシナリオを想定しています。既定の設定では、本ソフトウェアは、以降の同期で Macintosh 端末上では Android から同期された写真保持します。

これらの同期のオプションの設定は、同期がこのMacintosh端末から開始された際に、ローカルおよびリモート端末間の同期に適用されます。別の端末をリモート端末として選択した場合、個別の設定を行います。

同期の設定が終了したら、[次へ]をクリックします。

3 競合解決



- 同期の競合が発生しなかった場合、このステップは行う必要はありません、このステップを省略して4に進みます。

競合は、次の2つの状況で発生します。

- **双方向の同期**—同期されたファイルが、前回の同期以後に両方の端末上で変更された場合。
- **一方方向の同期**—同期されたファイルが、前回の同期以後に宛先の端末（矢印の先）上で変更された場合。

例：端末Aから端末Bに一方方向の同期を設定した際、同期を最初に実行した後に端末Bのファイルに変更を加えてから同期をもう一度実行すると、変更されたファイルは競合として該当します。

競合が発生した場合、次の画面が表示されます：



矢印(⇔、←、→、×)をクリックすると方向が変わります。希望の方向が表示されるまでクリックして、ファイルを転送する(上書き)方向を決定します。

複数のファイルが競合している場合は、リストの一番上の矢印をクリックして、すべてのファイルに対して同じ方向を設定することができます。リスト内の個別の矢印をクリックすることで各ファイルの方向を設定することもできます。

設定が完了したら[OK]をクリックします。

矢印の方向:

⇔	新しいファイルを適用—両方のファイルの日付・時間をチェックし、新しい方のファイルで古い方のファイルを上書きします。
→	ローカル端末からリモート端末へ転送—ローカル端末のファイルでリモート端末のファイルを上書きします。
←	リモート端末からローカル端末へ転送—リモート端末のファイルでローカル端末のファイルを上書きします。
×	転送しない—そのまま各端末上のファイルを保持し、転送を行いません。

4 同期の概要表示

同期の概要が表示されます。



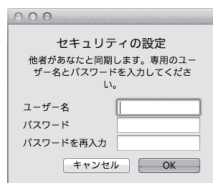
同期される内容の一覧を確認し、[開始]をクリックします。

5 同期の完了

同期が完了したら、同期された内容の要約が表示されます。[OK]をクリックします。ホーム画面に戻るにはさらに[戻る]をクリックします。

セキュリティの設定

リモート端末のユーザーが、このローカル端末に接続するときに必要なユーザー名とパスワードを変更するには、AOS Sync plusメニューから、[セキュリティの設定]をクリックします。



指定したら[OK]をクリックします。

※ Macintoshユーザーアカウントのユーザー名とパスワードではありません。この設定は、本ソフトウェア専用のものです。

※ユーザー名とパスワードは、両方入力する必要があります。また、パスワードは6文字以上で指定する必要があります。

ユーティリティの設定

SSL (Secure Socket Layer)接続が、ローカル端末から開始された同期のために必要とされるべきであるかどうかを設定するには、AOS Sync plusメニューから、[ユーティリティの設定]をクリックします。ほとんどのユーザーの場合、この設定は既定の[はい]のまま、変更する必要はありません。

Android 版

動作環境

- Android 2.3以上

インストール方法(Android)



同期したいすべての端末に本ソフトウェアをインストールする必要があります。

お使いのAndroid端末でGoogle Playストアにアクセスし、「AOS Sync+」を検索してインストールするか、次のURLにブラウザでアクセスしてインストールします。

<https://play.google.com/store/apps/details?id=com.aos.aosyncplus&hl=ja>

また、<http://aosbox.com/syncdl/> から、Google Playにアクセスすることも可能です。

▶登録と認証

初めて本ソフトウェアを起動したとき、登録して本ソフトウェアを認証するための画面が表示されます。下記に示された情報を入力し、[登録]をクリックします。

The screenshot shows the registration screen for AOS Sync+ on an Android device. The screen is titled "AOS Sync+" and has a "登録" (Register) section. The form contains the following fields:

- 名:
- 姓:
- メールアドレス:
- ライセンスキー:

At the bottom of the form, there is a checkmark icon and the text "登録" (Register).



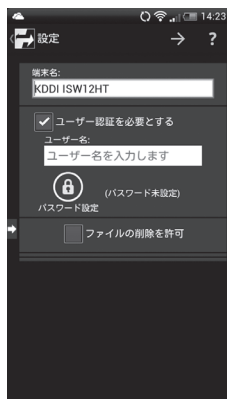
名、性、メールアドレスは必須です。

認証を行うには、お使いの端末がインターネットに接続されている必要があります。

認証が失敗する場合、弊社のカスタマーサポートまでお問い合わせください。

セキュリティ設定

本ソフトウェアを起動したとき、まだセキュリティ設定が行われていない場合に、ユーザー名とパスワードを設定する画面が表示されます。

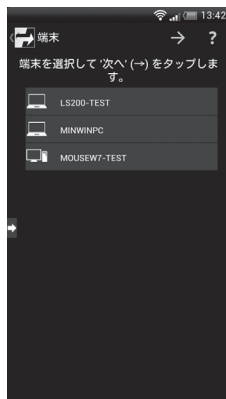


リモート端末のユーザーが、このローカル端末に接続するときに必要なユーザー名を入力します。次に [パスワードの設定] をタップしてパスワードを指定します。指定したら [完了] をクリックして [次へ] (→) をタップします。

※ユーザー名とパスワードは、両方入力する必要があります。また、ユーザー名は4文字以上、パスワードは6文字以上で指定する必要があります。

ホーム画面の概要

ホーム画面は、本ソフトウェアを実行したときに表示される最初の画面です。



- 使用可能な端末一本ソフトウェアが実行されている、すべての同一ネットワーク上の端末です。
- 設定一すべての同期端末に適用される、既定の設定を変更します。

アップデートの方法

アップデートは、Google Playより配信されます。自動的にアップデートするように設定されていない場合は、アップデートの通知から手動でアップデートを行ってください。

すべての端末に最新版の本ソフトウェアがインストールされていることをご確認ください。

同期の手順

以下の手順を行い、迅速かつ簡単に二つのデバイス間で同期を設定できます。

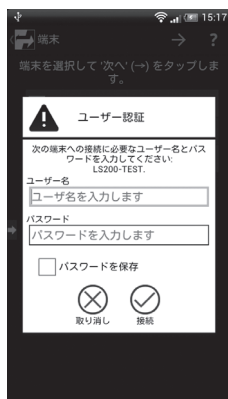
1 リモート端末に接続

ホーム画面で、同期したい端末を選択して、[次へ] (→) をタップします。



- 同期したいリモート端末は、本ソフトウェアを実行して、ホーム画面を表示したままにして、ローカル端末からの接続を待機させてください。

リモート端末でセキュリティ設定が行われている場合は、以下のようにユーザー名とパスワードが求められます。それぞれ入力して[接続]をタップします。



2 同期するフォルダーのペアの定義



同期するフォルダーのペアを追加するために、該当するアイコン（例えば、ドキュメント）をクリックします。既定では、ファイルは、2つの端末上の同等のフォルダー間で転送されます（例えば、ローカル端末とリモート端末上のドキュメント フォルダー内のファイル）。

同じカテゴリの複数のフォルダーのペアを追加することができます。



Androidから実行する場合、「写真」および「ビデオ」のカテゴリーは、該当する拡張子を持つファイルのみ同期されます。



• 左の列がローカル端末のフォルダー、右の列がリモート端末のフォルダーです。

Android—ほとんどの場合、既定のフォルダーの場所（同期場所）は、各カテゴリで次のようになっております：

- **写真**—/mnt/sdcard/DCIM
- **音楽**—/mnt/sdcard/Music
- **ビデオ**—/mnt/sdcard/DCIM
- **ドキュメント**—/mnt/sdcard/Documents



一部のAndroid端末は、上の場所とは異なる場所にファイルの一部またはすべてを格納している場合があります。Android端末から転送されたと思われるファイルが見つからない場合は、同期完了後、Android端末で転送されなかったファイルのプロパティを表示します。

ファイルのプロパティでは、Android端末でそのファイルが保存されている場所が表示されます。次回同期の際に、同期するフォルダーの変更（以下の詳細な手順を参照）を行い、Android端末のファイルのプロパティで表示されている場所を設定します。ファイルのプロパティの表示方法は、Android端末のマニュアルや、そのファイルを作成したアプリのヘルプなどをご覧ください。

Windows—既定のフォルダーの場所（同期場所）は、各カテゴリで次のようになっております：

- **写真**—ログオン中ユーザーの(マイ)ピクチャフォルダー C:¥Users¥(ロ

ログオン中のユーザー)¥Pictures

- **音楽**—ログオン中ユーザーの(マイ)ミュージックフォルダー
C:¥Users¥(ログオン中のユーザー)¥Music
- **ビデオ**—ログオン中ユーザーの(マイ)ビデオフォルダー C:¥Users¥(ログオン中のユーザー)¥Video
- **ドキュメント**—ログオン中ユーザーの(マイ)ドキュメントフォルダー
C:¥Users¥(ログオン中のユーザー)¥Documents

Macintosh—既定のフォルダーの場所(同期場所)は、各カテゴリで次のようになっています:

- **写真**—ログオン中ユーザーのピクチャフォルダー
- **音楽**—ログオン中ユーザーのミュージックフォルダー
- **ビデオ**—ログオン中ユーザーのムービーフォルダー
- **ドキュメント**—ログオン中ユーザーの書類フォルダー



• Macintosh上で上記の4つのフォルダーにアクセスするには、DockからFinderアイコンをクリックして、左のサイドバーにある「よく使う項目」下に表示されるリストから目的のフォルダーをクリックします。Macintoshに複数のユーザーアカウントが存在している場合、「よく使う項目」の下にリストされている特定のユーザーのフォルダーをクリックして、そのユーザーフォルダの中から4つのフォルダーにアクセスします。

iOS—同期の制限があります:

- **ファイルの種類**—iOSのから同期は、写真とビデオの2つがサポートされているファイルの種類です。他の種類のファイル(例えば、ドキュメント)はサポートされません。

iOS端末との同期を設定する場合、写真とビデオのアイコンのみが有効になります。

- **同期場所**—iOS端末上の写真とビデオは、[AOS Sync+]アルバムから同期されます。同期する前に、iOS端末で同期したい写真やビデオを[AOS Sync+]アルバムに追加してください。

iOS端末では、同期場所はここに固定され、変更できません。

フォルダーのペアを追加した後、Macintosh側のフォルダー(同期場所)

を変更するには、リスト内の左の項目をタップし、同期場所とするフォルダーを選択し、[次へ] (→) をタップします。ここでは、下位のフォルダーを参照するには [開く] を、上位のフォルダーを参照するには [上へ] を、端末の最上位のフォルダーを参照するにはそのカテゴリー名をタップします。

[その他] アイコン: 4つのカテゴリー(写真、音楽、ビデオおよびドキュメント)のいずれにも属さないフォルダーのペアを設定するには、このアイコンをクリックします。

その他がリストに表示されたら、ローカル端末およびリモート端末の両方のフォルダーの場所を設定します。ローカル端末のフォルダーを選択するには、リスト内の左の項目をタップし、同期場所とするフォルダーを選択し、[次へ] (→) をタップします。ここでは、下位のフォルダーを参照するには [開く] を、上位のフォルダーを参照するには [上へ] を、端末の最上位のフォルダーを参照するには [その他] をタップします。リモート端末のフォルダーを選択するには、リスト内の右の項目をタップして同様に指定します。



- iOS 端末と同期する場合は、その他アイコンは使用できません。iOS と Android で同期するには、写真またはビデオアイコンをクリックします。その後、Android 側のフォルダー (同期場所) を変更するために、リスト内の左の項目をクリックし、同期場所とするフォルダーを選択し、[次へ] (→) をタップします。

同期のオプション設定:

- **同期の方向**—既定では、同期は双方向になります (つまり、両方の端末から設定したフォルダーへ転送)。矢印 (⇄、←、→) をタップすると同期の方向が変わり、一方の端末からのみファイルを転送するように設定できます。希望する方向が示されるまで、矢印をタップします。
- **同期スイッチ**—既定ではチェック-オンに設定されており、設定されているフォルダーのペアで同期を行います。2つの端末間の初めての同期を実行する場合は、既定のままにしておきます。
その後の同期で、今回の同期で特定のフォルダーのペアを除外したい場合は、チェックボックスをタップしてオフに設定を変更します。

同期の設定が終了したら、[次へ](→)をタップします。

3 競合解決



- 同期の競合が発生しなかった場合、このステップは行う必要はありません、このステップを省略して4に進みます。

競合は、次の2つの状況で発生します。

- **双方向の同期**—同期されたファイルが、前回の同期以後に両方の端末上で変更された場合。
- **一方方向の同期**—同期されたファイルが、前回の同期以後に宛先の端末(矢印の先)上で変更された場合。

例：端末Aから端末Bに一方方向の同期を設定した際、同期を最初に行う後に端末Bのファイルに変更を加えてから同期をもう一度実行すると、それは競合として変更されたファイルを指しています。

競合が発生した場合、次の画面が表示されます：



矢印(⇄、←、→、×)をタップすると方向が変わります。希望の方向が表示されるまでタップして、ファイルを転送する(上書き)方向を決定します。

複数のファイルが競合している場合は、リストの一番上の矢印をタップして、

すべてのファイルに対して同じ方向を設定することができます。リスト内の個別の矢印をタップすることで各ファイルの方向を設定することもできます。

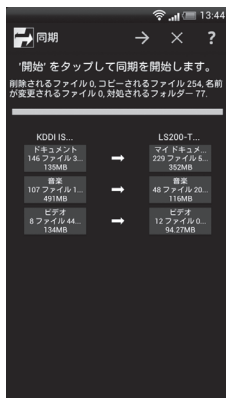
設定が終了したら、[次へ](→)をタップします。

矢印の方向:

↔	新しいファイルを適用—両方のファイルの日付・時間をチェックし、新しい方のファイルで古い方のファイルを上書きします。
→	ローカル端末からリモート端末へ転送—ローカル端末のファイルでリモート端末のファイルを上書きします。
←	リモート端末からローカル端末へ転送—リモート端末のファイルでローカル端末のファイルを上書きします。
✕	転送しない—そのまま各端末上のファイルを保持し、転送を行いません。

4 同期の概要表示

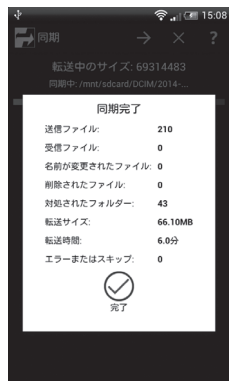
同期の概要が表示されます。



同期される内容の一覧を確認し、[開始](→)をクリックします。

5 同期の完了

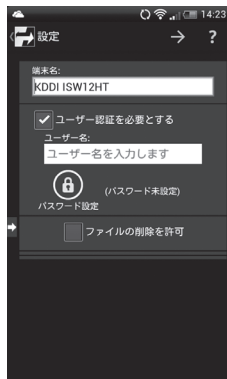
同期が完了したら、同期された内容の要約が表示されます。[完了]をタップします。



- 「写真」および「ビデオ」のカテゴリーは、それぞれ対応する拡張子を持つファイルのみ同期を行うため、同期の概要に表示されているファイル数と、同期の完了時に表示されているファイル数は、異なる場合があります。

セキュリティの設定

リモート端末のユーザーが、このローカル端末に接続するときに必要なユーザー名とパスワードを変更するには、画面の左側にある矢印をタップして、[設定]をタップします。



指定したら [完了] をクリックして [完了] (→) をタップします。

※ユーザー名とパスワードは、両方入力する必要があります。また、ユーザー名は4文字以上、パスワードは6文字以上で指定する必要があります。

ファイル削除の設定



設定画面の【ファイルの削除を許可】は、既定でオフになっています。Android と他の端末間で同期する場合、前回の同期後一方の端末上で削除されたファイルは、次の同期が実行されたときに、他の端末上で本ソフトウェアが削除することはありません。

例えば、Android 端末の容量を節約するために、Windows に Android から写真を同期し、その後 Android から写真を削除する一般的なシナリオを想定しています。既定の設定では、本ソフトウェアは、以降の同期で Windows 端末上では Android から同期された写真保持します。

既定の設定を変更するには、【ファイルの削除を許可】チェックボックスをタップして切り替え、[完了] (→) をタップします。オンにした場合、前回の同期後一方の端末上で削除されたファイルは、次の同期の実行時に本ソフトウェアによって、別の端末上でも削除されます。

この設定は、この Android 端末から開始されたすべての同期に適用されます。

iOS 版

動作環境(iOS)

- iOS 6.1 以上

インストール方法(iOS)

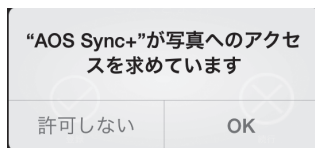


同期したいすべての端末に本ソフトウェアをインストールする必要があります。
iOS 端末で App Store にアクセスし、概説されている指示に従ってください。

<http://aosbox.com/syncdl/> から、App Store にアクセスして本ソフトウェアをインストールしてください。

同期アクセスと認証

初めて本ソフトウェアを起動したとき、次のポップアップメッセージが表示されます。



iOS 端末上で本ソフトウェアを使用するには、本ソフトウェアが写真にアクセスする必要があります。 [OK] をタップします。

登録

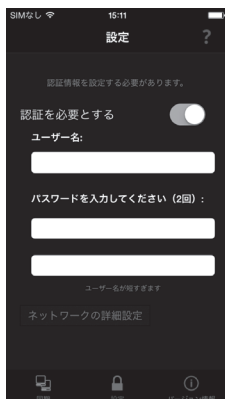
本ソフトウェアをオンライン未登録の状態で行ったとき、登録して本ソフトウェアを認証するための画面が表示されます。下記に示された情報を入力し、[登録] をクリックします。



名、性、メールアドレスは必須です。

登録を行うには、お使いの端末がインターネットに接続されている必要があります。

次に、ユーザー名とパスワードを設定する画面が表示されます。



リモート端末のユーザーが、このローカル端末に接続するときに必要となるユー

ザー名を入力します。次に [パスワードの設定] をタップしてパスワードを指定します。その後、[同期] をタップしてホーム画面に移動します。

※ユーザー名とパスワードは、両方入力する必要があります。また、ユーザー名は4文字以上、パスワードは6文字以上で指定する必要があります。

ユーザー名とパスワードによるセキュリティ設定を必要としない場合、[認証が必要] スイッチをオフにします。ほかの端末がこのiOS 端末に接続する際に、ユーザー名とパスワードを入力せずに接続できるようになります。

後で設定するには、[設定] をタップします。

ホーム画面の概要

ホーム画面は、本ソフトウェアを実行したとき、または [同期] をタップしたときに表示される最初の画面です。



- 選択可能な端末一本ソフトウェアが実行されている、すべての同一ネットワーク上の端末です。
- 設定一すべての同期端末に適用される、既定の設定を変更します。

同期の手順



本ソフトウェアは、iOS 端末に「AOS Sync+」のアルバムを作成し、ファイルはこのアルバムからのみ同期することができます。このアルバムに同期したい写真やビデオを追加してください。

以下の手順を行い、迅速かつ簡単に二つのデバイス間で同期を設定できます。

1 リモート端末に接続

ホーム画面で、同期したい端末をタップします。

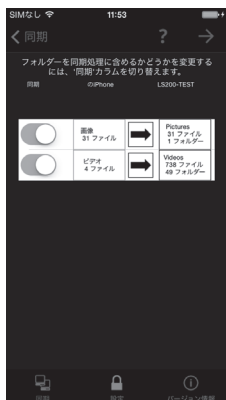


- 同期したいリモート端末は、本ソフトウェアを実行して、ホーム画面を表示したままにして、ローカル端末からの接続を待機させてください。

リモート端末でセキュリティ設定が行われている場合は、以下のようにユーザー名とパスワードが求められます。それぞれ入力して[OK]をタップします。



2 同期するフォルダーのペアの定義



初めて同期を実行するためにリモート端末に接続したときは、リスト内に2つのフォルダーのペア(写真とビデオ)が表示されます。既定では、両ペアはオフに設定されています。同期にフォルダーのペアを含めるには、同期スイッチをオンに設定します。



- 左の列がローカル端末のフォルダー、右の列がリモート端末のフォルダーです。
- iOSのから同期は、写真とビデオの2つがサポートされているファイルの種類です。他の種類のファイル(例えば、ドキュメント)はサポートされません。



iOSから実行する場合、「写真」および「ビデオ」のカテゴリーは、該当する拡張子を持つファイルのみ同期されます。

同期のオプション設定：

- **同期の方向**—既定では、同期は双方向になります(両方の端末から設定したフォルダーへ転送)。矢印(⇔、←、→)をタップすると同期の方向が変わり、一方の端末からのみファイルを転送するように設定できます。希望する方向が示されるまで、矢印をタップします。

- **リモート先の同期フォルダーの変更**—リモート端末の同期するフォルダーを変更します。変更するには、リスト内の右の項目をタップします。次に、「フォルダーの選択」画面で、他のフォルダーをタップして選択します。変更を確定し、ホーム画面に戻るには「フォルダーを選択」をタップします。

また、「フォルダーの選択」画面で、現在表示中のフォルダーから上位のフォルダーを参照するには、「上へ」を、端末の最上位のフォルダーを参照するには、「写真/ビデオ」をタップします。

リモート端末に新しいフォルダーを作成するには、「フォルダーの選択」画面で「その他」をタップして、フォルダーを作成する場所を選択します（各フォルダーの「i」アイコンをタップすると、その配下のフォルダーを表示できます）。次に、「新規」をタップし、フォルダー名を入力して「OK」をタップします。作成した新しいフォルダーを同期位置として使用するには、このフォルダーを選択して「フォルダーを選択」または「→」をタップします。

iOS 端末の同期場所—iOS 端末上の写真とビデオは、「AOS Sync+」アルバムから同期されます。同期する前に、同期したい写真やビデオを「AOS Sync+」アルバムに追加してください。

Windows—既定のフォルダーの場所（同期場所）は、各カテゴリで次のようになっています：

- **写真**—ログオン中ユーザーの（マイ）ピクチャフォルダー C:\¥Users¥（ログオン中のユーザー）¥Pictures
- **ビデオ**—ログオン中ユーザーの（マイ）ビデオフォルダー C:\¥Users¥（ログオン中のユーザー）¥Video

Macintosh—既定のフォルダーの場所（同期場所）は、各カテゴリで次のようになっています：

- **写真**—ログオン中ユーザーのピクチャフォルダー
- **ビデオ**—ログオン中ユーザーのムービーフォルダー



- Macintosh上で上記の2つのフォルダーにアクセスするには、DockからFinderアイコンをクリックして、左のサイドバーにある「よく使う項目」下に表示されるリストから目的のフォルダーをクリックします。Macintoshが複数のユーザーアカウントを持っている場合、「よく使う項目」の下にリストされている特定のユーザーのフォルダーをクリックして、そのユーザーフォルダーの中から2つのフォルダーにアクセスします。

Android—ほとんどの場合、既定のフォルダーの場所（同期場所）は、各カテゴリーで次のようになっております：

- **写真**—/mnt/sdcard/DCIM
- **ビデオ**—/mnt/sdcard/DCIM



一部のAndroid端末は、上の場所とは異なる場所にファイルの一部またはすべてを格納している場合があります。Android端末から転送されたと思われるファイルが見つからない場合は、同期完了後、Android端末で転送されなかったファイルのプロパティを表示します。

ファイルのプロパティでは、Android端末でそのファイルが保存されている場所が表示されます。次回同期の際に、上記記載の「リモート先の同期フォルダーの変更」を行い、Android端末のファイルのプロパティで表示されている場所を設定します。ファイルのプロパティの表示方法は、Android端末のマニュアルや、そのファイルを作成したアプリのヘルプなどをご覧ください。

同期の設定が終了したら、[今すぐ同期]をタップします。

3 競合解決



- 同期の競合が発生しなかった場合、このステップは行う必要はありません、このステップを省略して4に進みます。

競合は、次の2つの状況で発生します。

- **双方向の同期**—同期されたファイルが、前回の同期以後に両方の端末上で変更された場合。

- **一方方向の同期**—同期されたファイルが、前回の同期以後に宛先の端末（矢印の先）上で変更された場合。

例：端末 A から端末 B に一方方向の同期を設定した際、同期を最初に行ったら後に端末 B のファイルに変更を加えてから同期をもう一度実行すると、それは競合として変更されたファイルを指しています。

競合が発生した場合、次の画面が表示されます：



矢印(⇔、←、→、×)をタップすると方向が変わります。希望の方向が表示されるまでタップして、ファイルを転送する(上書き)方向を決定します。

複数のファイルが競合している場合は、リストの一番上の矢印をタップして、すべてのファイルに対して同じ方向を設定することができます。リスト内の個別の矢印をタップすることで各ファイルの方向を設定することもできます。

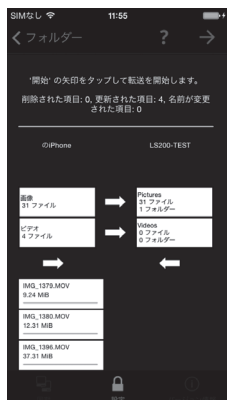
設定が終了したら、[完了]をタップします。

矢印の方向:

↔	新しいファイルを適用—両方のファイルの日付・時間をチェックし、新しい方のファイルで古い方のファイルを上書きします。
→	ローカル端末からリモート端末へ転送—ローカル端末のファイルでリモート端末のファイルを上書きします。
←	リモート端末からローカル端末へ転送—リモート端末のファイルでローカル端末のファイルを上書きします。
✕	転送しない—そのまま各端末上のファイルを保持し、転送を行いません。

4 同期の概要表示

同期の概要が表示されます。



同期される内容の一覧を確認し、[開始]をクリックします。

5 同期の完了

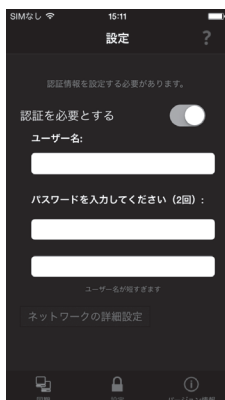
同期が完了したら、同期された内容の要約が表示されます。[完了]をタップします。



- 別の端末から転送されたファイルは、[AOS Sync plus] アルバムに配置されることにご注意ください。

セキュリティの設定

リモート端末のユーザーが、このローカル端末に接続するときに必要となるユーザー名とパスワードを変更するには、[設定]をタップします。



指定したら [完了] をクリックして [完了] (→) をタップします。

※ユーザー名とパスワードは、両方入力する必要があります。また、ユーザー名は4文字以上、パスワードは6文字以上で指定する必要があります。

ファイル削除の設定



設定画面の [ファイルの削除を許可] は、既定でオフになっています。iOS と他の端末間で同期する場合、前回の同期後一方の端末上で削除されたファイルは、次の同期が実行されたときに、他の端末上で本ソフトウェアが削除することはありません。

例えば、iOS 端末の容量を節約するために、Windows に iOS から写真を同期し、その後 iOS から写真を削除する一般的なシナリオを想定しています。既定の設定では、本ソフトウェアは、以降の同期で Windows 端末上では iOS から同期された写真保持します。

実 行

既定の設定を変更するには、[ファイルの削除を許可]チェックボックスをタップして切り替え、[完了]をタップします。オンにした場合、前回の同期後一方の端末上で削除されたファイルは、次の同期の実行時に本ソフトウェアによって、別の端末上でも削除されます。

この設定は、このiOS 端末から開始されたすべての同期に適用されます。

ウルトラシンク仕様書

ウルトラシンクの概要

高度な同期技術により、ファイルのタイムスタンプを見て、古いファイルに戻したり、削除されたファイルを元に戻す事ができます。

実際の動作

▶初回の同期時

一方の端末に存在しないファイルは、もう一方の端末に転送されます。
この時点で同じファイルが存在する場合、競合解決処理を行います。

ローカル端末	方向	リモート端末	動作
File1 - 2014/08/12 00:34:11	⇔	(存在していない)	リモート端末へ転送
File2 - 2014/08/17 14:24:50	⇔	(存在していない)	リモート端末へ転送
(存在していない)	⇔	File3 - 2014/08/19 16:40:02	ローカル端末へ転送
(存在していない)	⇔	File4 - 2014/08/14 11:21:18	ローカル端末へ転送
File5 - 2014/08/20 20:00:44	⇔	File5 - 2013/11/19 09:47:34	競合解決 (20, 34, 44, 55ページ)
File6 - 2014/08/22 15:25:39	⇔	(存在していない)	リモートへ転送

▶ 次回の同期時

初回(前回)の同期から変更されたファイルが転送されます。

両方の端末で変更されているファイルは、競合解決処理が行われます。解決の設定によって、どちらのファイルを適用するかを指定できます(疑似的に古いファイルに戻すことが可能です)。

一方の端末で削除されているファイルは、「ファイルの削除を許可」オプションの状態によって動作が異なります。

ローカル Local	方向 Direction	リモート Remote	動作 behavior
File1 - 2014/08/12 00:34:11	⇔	File1 - 2014/08/12 00:34:11	何もしない
File2 - 2014/08/21 10:11:05	⇔	File2 - 2014/08/17 14:24:50	リモート端末へ転送
File3 - 2014/08/19 16:40:02	⇔	File3 - 2014/08/20 15:28:47	ローカル端末へ転送
Deleted	⇔	File4 - 2014/08/14 11:21:18	「ファイルの削除を許可」 オプション (20, 33 ページ) が ●有効—リモート端末の ファイルを削除 ●無効—何もしない
File5 - 2014/08/20 20:00:44	⇔	Deleted	「ファイルの削除を許可」 オプション (20, 33 ページ) が ・有効—ローカルのファイル を削除 ・無効—何もしない
File6 - 2014/09/03 11:49:59	⇔	File6 - 2014/08/31 09:10:04	競合解決 (20, 34, 44, 55 ページ)

▶同期方向を変えた場合

指定した方向へファイルを転送します。方向の通り転送が行われます。

方向の「元」で削除されたファイルは「ファイルの削除を許可」オプションの状態によって動作が異なります。

方向の「先」で削除されたファイルは、「元」から再転送されず（疑似ファイル復元）。

この時に競合が発生した場合、解決方向も一方向になります（転送する、またはしないの二択）。

ローカル Local	方向 Direction	リモート Remote	動作 behavior
File1 - 2014/08/12 00:34:11	→	File1 - 2014/08/12 00:34:11	何もしない
File2 - 2014/08/21 10:11:05	→	File2 - 2014/08/17 14:24:50	リモートへ転送
File3 - 2014/08/19 16:40:02	→	File3 - 2014/08/20 15:28:47	競合解決 (20, 34, 44, 55ページ)
Deleted	→	File4 - 2014/08/14 11:21:18	「ファイルの削除を許可」 オプション (20, 33ペー ジ)が ・有効 - リモート端末の ファイルを削除 ・無効 - 何もしない
File5 - 2014/08/20 20:00:44	→	Deleted	リモートへ転送
File6 - 2014/09/03 11:49:59	→	File6 - 2014/08/31 09:10:04	競合解決 (20, 34, 44, 55ページ)

本製品の使用について

本ソフトウェアの使用には、下記の「ライセンス使用許諾契約書」への同意が必要です。

AOS Sync+ 利用許諾契約書

第1条 本契約について

本利用許諾契約書は、お客様（個人または法人を問いません。）と弊社株式会社（以下「弊社」といいます。）との間に締結される、AOS Sync+（以下「本ソフトウェア」といいます。）のご利用に関する契約書（以下「本契約」といいます。）です。

お客様が、シールをはがす等の方法により本ソフトウェアのプログラム媒体が梱包されたパッケージを開いた場合、または本ソフトウェアをインストールした場合には、本契約を読みその内容を理解し、その利用条件に拘束されることに同意しているものとみなされます。

お客様が会社の従業員または代理人であって、その会社の営業目的にしたがって本ソフトウェアを利用するため本契約を締結する場合には、お客様は会社を代表して本契約を締結するものとし、会社は本契約の条件に拘束されるものとし、本契約はお客様と弊社との完全かつ排他的な合意を記した書面であり、口頭によると書面によるを問わず、あらゆる提案または事前の合意、その他の本契約の目的となる事項に関するお客様と弊社との間のコミュニケーションに優先するものであることに同意ください。

弊社が本契約に基づく権利を守るために紛争処理手続（法的手続であると否とを問いません。）に関与する場合には、弊社は、合理的な範囲の弁護士報酬や費用、支払額などのお客様が負担すべき額のお合算額をお客様に請求する権利を有することに同意ください。

弊社が本契約に基づく権利を守るために紛争処理手続（法的手続であると否とを問いません。）に関与する場合には、弊社は、合理的な範囲の弁護士報酬や費用、支払額などのお客様が負担すべき額のお合算額をお客様に請求する権利を有することに同意ください。

第2条 本ソフトウェアについて

本ソフトウェアでは、同じネットワーク上の複数の端末間で、ドキュメント、画像、音楽、ビデオなどのファイルを同期させることができます。

本ソフトウェアには、パッケージ版およびダウンロード版があります。また、本ソフトウェアはWindows、Android、Mac OSおよびiOS端末で使用可能です。

その他、本ソフトウェアの詳細についてはAOS Sync+ユーザーズマニュアル (http://download.aostech.co.jp/sync/doc/aossync_guide.pdf) をご覧ください。

第3条 所有権および知的財産権の留保

このパッケージに含まれている、または他の方法によりお客様が取得した全ての本ソフトウェアのプログラム（弊社が随時お客様に提供するアップデートを含みます。）およびマニュアル等（以下、あわせて「本ソフトウェア等」といいます。）の所有権、著作権その他の知的財産権は、本契約においてお客様に明示的に付与されるものを除き、弊社および/またはLaplank Software, Inc.に排他的に帰属していることをご了承ください。本ソフトウェア等、本ソフトウェア等は、弊社がお客様に対し利用許諾（ライセンス）しているものであり、お客様に弊社の商標または特許に関するいかなる権利をも付与・譲渡するものではありません。

本ソフトウェア等は、著作権法その他の知的財産権に関する日本および米国の法律および条約によって保護されています。

第4条 個人情報の取扱い

本ソフトウェアのインストール時およびその後弊社が収集した個人情報の取扱いに関しては、弊社のプライバシーポリシー (<http://aostech.co.jp/privacy.html>) に従うものとします。

第5条 本ソフトウェアとライセンス

弊社はお客様に、本ソフトウェアの限定的、非独占的かつ取消可能なライセンスを、コンピュータで読み取り可能なオブジェクトコード形式でのみ付与することにご同意ください。お客様は、本契約で許可された限度においてのみ本ソフトウェアをご利用いただけることに同意ください。

第6条 ライセンスの範囲

お客様に付与されるライセンスキーは、本ソフトウェアがインストールされているコンピュータまたはモバイル端末（Windows、Android、Mac OS および iOS の各端末を含む。以下「端末」といいます。）の、OSの種類ごとにあらかじめ指定された台数にのみ有効なものであり、お客様は、ライセンスキー一つにつき、ご自身が利用する指定された台数の端末にインストールされた本ソフトウェアのみを利用することが許可されます。お客様が他の端末との同期のため本ソフトウェアを利用する場合、各端末につきそれぞれ有効なライセンスキーの入力が必要となります。

同一の端末上の本ソフトウェアを利用するユーザが他にいる場合には、各ユーザがそれぞれ有効なライセンスを取得する必要があります。また、お客様の端末を他のユーザの端末と同期するためには、その端末のユーザが有効なライセンスを取得している必要があります。

本ソフトウェアがネットワークサーバにインストールされ、または複数のユーザが本ソフトウェアを実行できる場合、各ユーザまたはワークステーションにつき別個のライセンスを取得する必要があります。

追加のライセンスを取得するには、弊社ウェブサイトをご参照ください。

第7条 禁止事項

本ソフトウェアを複製、変更もしくは改造を加えること、および、本ソフトウェアプログラムを翻訳し、逆コンパイル、逆アセンブルその他のリバースエンジニアリングをすることは認められません。

本ソフトウェアもしくはその複製物を、他人にローン、賃貸、リースまたはサブライセンスすることは、その目的を問わず認められません。

本ソフトウェアの無許利用、改造、複製、配布または公表を防止するため、お客様にご協力いただくことに同意ください。

第8条 お客様の責任

お客様は、本ソフトウェアの使用に伴ういかなる結果に関しても全責任を負うものとします。

前条の行為のほか、本ソフトウェアを使用し、以下の行為に及ばないことに明確にご同意ください。

- 1 法令に違反する行為
- 2 第三者の知的財産権その他の権利の侵害
- 3 ウィルスまたはその他の有害なコンピュータプログラムもしくはファイル(トロイの木馬、ワームまたは時限爆弾等)を含む資料の同期
- 4 公序良俗に反するまたはそのおそれのある行為
- 5 犯罪行為または犯罪に結びつく行為

第9条 お客様の損害賠償義務

お客様は、以下に関連して生じた全ての損害および費用(弁護士費用を含む)について、弊社に賠償する義務を負うものとします。

- 1 本ソフトウェアの利用
- 2 本契約の違反
- 3 知的財産権を含む第三者の権利の侵害
- 4 お客様のデータの利用が第三者に損害を引き起こしたとする請求

この損害賠償義務は、本サービスの終了後も存続するものとします。

第10条 利用条件

本ソフトウェアのライセンスは、お客様が本ソフトウェアを取得した日に有効となり、終了するまで有効に存続するものとします。

お客様は、お客様の端末から本ソフトウェアを削除し、本ソフトウェアのオリジナルおよびすべての複製物を破壊することにより、いつでもこのライセンスを終了することができます。お客様が本契約に定める利用条件のいずれかに違反した場合は、このライセンスは自動的に終了します。

お客様は、いかなる理由によるものであれこのライセンスが終了した時点で、本ソフトウェアをインストールしたすべての端末から本ソフトウェアを削除し、かつ、本ソフトウェアのオリジナルおよび本ソフトウェアとマニュアルのすべての複製物を破壊するかこれらを弊社に返却することに同意するものとします。

第11条 ライセンスの譲渡の禁止

お客様は、第三者に本ソフトウェアのライセンスを譲渡することができません。

第12条 本ソフトウェアの複製

お客様は、バックアップまたは保管の目的で、本ソフトウェアおよびマニュアルを1回のみ複製することができ、また、プログラム媒体のオリジナルと付属するマニュアルを他者に譲渡することなく保管することを条件として、本ソフトウェアをハードディスクドライブ1台のみに転送することができます。

これらの本ソフトウェアまたはマニュアルの複製物には、弊社の著作権およびその他の財産権に関する表示をしなければなりません。

上記のほか、お客様またはお客様の支配下にある者による本ソフトウェアまたはマニュアルの複製は、一切認められません。

第13条 瑕疵担保責任

弊社は、物理的な媒体を提供した場合、プログラム媒体およ

び紙媒体のマニュアルについて、ご購入日から60日間、材質および製造工程上の瑕疵がないことを保証します。お客様が保証期間内に上記の瑕疵を発見し弊社に通知した場合、弊社は、瑕疵のあるプログラム媒体もしくはマニュアルを交換するか、その数量により購入代金を返金いたします。本保証への違反に対するお客様への救済は上記の交換または返金に限定されるものとし、その他の損害賠償は含まないものとします。

弊社は、上記に明示したものを除いて、物理的なプログラム媒体、紙媒体のマニュアルまたはソフトウェアプログラムについて保証せず、また弊社は、本ソフトウェアの操作または特定の用途、利用しないし目的への適合性に関していかなる保証も提供しません。

第14条 弊社、貴社の責任の限定

弊社は、本契約による本ソフトウェアのライセンス、メンテナンスおよびサポートサービスの提供に起因する事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失およびこれに類する損害(仮にお客様が弊社にそのような損害が発生する可能性について報告していた場合であっても同様とします)また、過失責任、厳格責任、設計上の瑕疵その他のあらゆる理論に基づく請求を含む、結果的、間接的、偶発的、懲罰的または特殊な損害については、それがどのようなものであれ責任を負わないものとします。

弊社が負う責任の額は、お客様が本ソフトウェアに支払った購入価格から税額を引いたものを超えないものとします。

上記の規定は、弊社に故障または重大過失がある場合には適用されないものとします。

第15条 サポートサービス

弊社は、弊社が定める手続に従ってユーザ登録を行ったお客様に対し、当該ユーザ登録の日から1年を経過する日までを有効期間として、メール、チャットまたは電話によるサポートサービスを提供いたします。ただし、インターネット接続環境またはメールアドレスをお持ちでないお客様においては、サポートサービスのうち一部が有料となります。

お客様は、前項記載のユーザ登録の内容に変更が生じた際には、弊社に対し遅滞なく届出を行うものとします。サポートサービスの提供に関する弊社の義務は、本条1項記載の内容に関する合理的な努力を行使することに限られるものとします。また、弊社は、以下のいずれかに該当するお客様に対してサポートサービスを提供する義務を負わないものとします。

- 1 弊社が定める手続に従ったユーザ登録を行っていないお客様
 - 2 前項所定の変更の届出を行っていないお客様または当該変更の届出に不備があるお客様
 - 3 サポートサービスの有効期間にないお客様
 - 4 本ソフトウェアを、日本語以外の言語に対応するオペレーティングシステムとともに使用しているお客様
 - 5 本ソフトウェアに関する内容でない質問のあるお客様
- 弊社は、以下の場合、お客様へ事前の通知を行うことなくサポートサービスの提供を停止できるものとします。
- 1 システムの緊急保守を行うとき
 - 2 火災、停電等の不可抗力および第三者による妨害等により、システムの運用が困難になったとき
 - 3 天災またはこれに類する事由により、システムの運用ができなくなったとき
 - 4 上記以外の緊急事態により、弊社がシステムを停止する必要があると判断するとき

お客様は、サポートサービスの有効期間が終了する日まで

に弊社が定める手続に従いサポートサービス契約を更新することによって、引き続きサポートサービスの提供を受けることができます。なお、サポートサービス契約の更新には別途費用が必要となります。

前各項にかかわらず、弊社は、同社がサポートを終了した本ソフトウェアについては、お客様に対するサポートサービスを提供する義務を負わないものとします。

第16条 輸出に関する法規制

本ソフトウェアおよび関連する技術は、米国輸出管理法の対象となり、またその他の国の輸出または輸入規制の対象となることがあります。

お客様は、これらの法令を厳格に遵守することに同意し、また、必要に応じて輸出、再輸出または輸入に関する免許を取得する義務があることを認めるものとします。

第17条 雑則

本契約およびお客様と弊社間との関係は、日本法に準拠するものとします。

お客様は、本契約から生じる紛争の解決または権利の申立ては東京地方裁判所を第一審の専属的な管轄裁判所とすることにご同意いただくものとします。

知的財産権に関しては、弊社が自己の権利の保護または執行に当たり任意の裁判管轄において訴訟を提起できることに明確にご同意いただくものとします。

本契約は、お客様と弊社との間の完全合意を構成しており、本ソフトウェアに関連するお客様と弊社との間の先行するあらゆる合意に優先して適用されるものとします。

本契約のいずれかの部分が無効または執行力がないものと判断された場合、その部分は適用法に合致する方法で両当事者の本来の意図をできる限り反映して作成され、残りの部分はなお効力を有するものとします。

弊社が本契約の権利を行使または執行しなかったとしても、その権利を放棄したものとはみなされないものとします。

最終改訂日2014年9月10日

よくある質問

弊社への技術的なお問い合わせは、以下に示すように、ウェブサイト、電子メール、またはチャットをご利用いただけます。

▶ よくある質問と回答集

本ソフトウェアのよくある質問と回答集 (FAQ) は、オンラインで利用することができます。

最新情報は、次のWeb サイトをご覧ください。

<http://aosbox.com/sync/help>

▶ オンラインユーザー登録

ユーザー登録は、技術サポートを受けたり、製品の最新版情報を受け取るなどのために必要です。

https://www.finaldata.jp/support/new_registration.html

▶ アップデートプログラム

最新のアップデートプログラムがある場合は、次のサイトにて提供しています。最新のプログラムを入手後、本ソフトウェアをご使用ください。

<http://www.finaldata.jp/download/download.html#update>

お問い合わせ

ご購入頂きましたソフトウェアの操作上のお問合せや、技術的なご質問につきましては、AOS テクノロジーズ技術サポートまでお問合せください。専門スタッフが問題解決のお手伝いをさせていただきます。なお、サポートをお受けになる場合は、下記事項を確認の上、ご連絡ください。

- 電源が正しく接続されており、ハードディスク及び接続コネクタ類が正しく接続されているでしょうか?
- お客様のご使用になっているパソコンは、システム条件 を満たしているでしょうか?
- パソコンのOS、ドライブ構成、容量、その他周辺機器はどのようになっているでしょうか?
- 障害発生後、どのような操作を行ったでしょうか?
- 本ソフトウェアを実行して、ホーム画面の右上にある(?)をクリックして表示される詳細なバージョン番号はいくつでしょうか?(例:8.00[633])

Eメール: aossync@aos.com

オンラインチャット: <http://www.finaldata.jp/>

リアルタイムお問い合わせシステム「ライブサポート」で承ります(受付: 祝祭日を除く月曜～金曜 10:30～12:00、13:00～17:00)



AOSテクノロジーズ株式会社

<http://aosbox.com/sync>

メール : aosync@aos.com